

2022年度 飼育報告

担当：井口

・セキセイインコ（ホサナ）

かごの掃除・水替え・えさやりは保育者が行った。

園児、未就園児が差し入れる草花には充分注意し、毒になるもの（園庭の紫陽花）を与えないよう指導した。

夏期休業中は、教師が自宅で飼育し、冬期休業中は保温器（タイマーを使用）にて対応した。三学期に年少児がケージの扉を開け放鳥してしまった（保育者が園舎内で無事保護）ため、ビニタイで固定することとした。

「おはよう」「ホサナ」などの他、保育者の笑い声をまねするようになった。

・金魚（ぎんちゃん）

・めだか

・金魚（相模湖生まれの2匹）

金魚（ぎんちゃん）、めだかが夏休み中に召された（夏場の飼育環境に工夫が必要、来年度の課題）ため、園庭の隅に埋めお墓を作った。子どもたちが花を飾り祈る姿があった。

秋には縁日の金魚を数匹頂いたが、残念ながら相次いで召されてしまった。

2月にご近所の方より相模湖生まれの金魚を頂き、2匹とも元気に過ごしている。新年度の年長組園児に命名を託すこととなった。

水槽の清掃、水草の管理は保育者が行い、えさやりを、年長組の園児が1日1人担当した。当番表を作成し、やり忘れがないよう指導した。

・昆虫

園庭で見つけた虫を飼育ケースに入れ観察、図鑑で調べたりしてリリース。今年度は幼虫の飼育は行わなかった。

飼育当番表と2匹の金魚

